

■矢島楯子 教育家，社会事業家。悲惨な体験から，女子学院設立，廃娼運動をはじめ，女子教育・婦人運動に生涯。

やじまかじこ

天保大飢饉始1833 = 肥後国(熊本県)益城で，惣庄屋矢島家の六女に生まれる。

女ばかりの出生が続いたのをうとまれ，姉がやっと勝子と名付けてくれた。_姉はのちの竹崎順子，徳富蘇峰蘆花兄弟の母久子，横井小楠の妻せつ子。

大塩平八郎乱1837 = 4歳：

天保改革弾圧1842 = 9歳：

阿部正弘首座1845 = 12歳：

尊徳報徳論・1851 = 18歳：

ペリー来航・1853 = 20歳：

五ヶ国条約・1858 = 25歳：隣村の林七郎の後妻として結婚し，

桜田門外変・1860 = 27歳：3児をもうけたが，

_酔うと刀を抜いて振り回す酒乱の夫に苦しみ，

大政奉還・・1867 = 34歳：赤ん坊をかばった腕に夫の投げた小刀が突き刺さり，ついに死ぬよりはと家出し，

明治維新・・1868 = 35歳：離婚，

戊辰戦争終・1869 = 36歳：肉体的・精神的苦痛から，失明寸前になっていた。親類にまで非難されたが，姉たちに支えられ，

学問のすすめ1872 = 39歳：兄直方の看病のため上京する船中で自らの手で人生を拓くことを決意，楯子と改名。教員伝習所に学ぶ。

明治6年政変1873 = 40歳：小学校教員になり，

_妻ある男性と恋愛，秘密裏に出産したが，結婚せずに別れる。その挫折感を味わっていた時，女性伝導師ツルーと出会い，

大久保暗殺・1878 = 45歳：_長老派の経営する築地居留地内の新栄女学校舎監に招かれ，

琉球処分・・1879 = 46歳：*キリスト教徒となり，受洗。

明治14年政変1881 = 48歳：_クリスチャンの桜井チカに頼まれて，桜井女学校校長代理となり，ミッションの経営に移行する。

帝国大学始・1886 = 53歳：*レヴィット女史の来日に接して，40数名で東京基督教婦人矯風会を創立し会長。廃娼・禁酒運動を推進，国民之友始・1887 = 54歳：_家庭浄化のため，一夫一婦の建白書を元老院に提出。

帝国憲法発布1889 = 56歳：*桜井両女学校が東京麹町に校舎を移転し，新栄女学校と合併して女子学院と改称，初代院長に就任した。

帝国議会始・1890 = 57歳：_国会開設に際して女子の傍聴許可を要求，

郡司千島探検1893 = 60歳：_日本基督教婦人矯風会会頭となって廃娼運動に奔走，

日清戦争始・1894 = 61歳：_東京大久保に慈愛館を設立，

白馬会・・・1896 = 63歳：_久布白落実らとともにアメリカのボストンに赴き，第7回万国矯風会大会に出席，

日露戦争終・1905 = 72歳：

明治天皇没・1912 = 79歳：

第一次大戦始1914 = 81歳：_女子学院院長を退任。

大暴落・・・1920 = 87歳：_第10回万国矯風会大会出席のためロンドンに赴き，ニューヨークに立ち寄る。

原敬首相暗殺1921 = 88歳：_満州・朝鮮を巡り，ワシントンでの万国矯風会大会に参加，大統領ハーディングに世界平和請願万人署名を渡す。国際軍縮会議にも参加した。

護憲三派圧勝1924 = 91歳：_婦人参政権獲得期成同盟会に加盟。勲五等瑞宝章。

治安維持法・1925 = 92歳：*生涯を女子教育・婦人運動に尽くし，現役で，没した。

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「目でみる日本人物百科」，「女たちの20世紀・100人」，「日本の女性」，